

ドイツ語圏文化学科

卒業研究執筆要領

(2022 年度版)

目次

0. 卒業研究の必要条件.....	2
1. 提出.....	2
2. 論文の構成.....	2
3. 書式.....	3
3.1. タイトルページ.....	3
3.2. 目次.....	3
3.3. 本文.....	3
3.4. 章・小節の題（見出し）.....	4
4. 執筆上の注意.....	4
5. 「引用」・「参照」・「脚注」・「参考文献」について.....	5

0. 卒業研究の必要条件

- 合格するためには以下の条件を満たす必要があります。
- 1. ドイツ語圏にかかわることがらを研究対象とすること。
- 2. その研究対象は、これまでに履修した（あるいは現在、履修している）コースゼミナールで扱っているテーマに関わりがあること。
- 3. 指導教員の指導を定期的にする。

1. 提出

- 提出期限：2023年1月16日（月）15時まで
 - これは、事務手続き上の最終期限です！もっと早く提出するように！
- 提出場所：ドイツ語圏文化学科事務室

※ただし、コロナウイルス感染状況によっては、郵送等別の手段の提出になる可能性もあります。G-Portでの連絡を常に確認するようにしてください。

- 提出物：以下の1~4をまとめて左上をホッチキスでとめたものを2部提出。
 - 1) タイトルページ
 - 2) 目次
 - 3) 本文
 - 4) 参考文献一覧

※なお、書式を含め、卒業研究の中身については事務室では相談を受け付けていません。質問は指導教員にし、自分でよく確認のうえ提出してください。

2. 論文の構成

- 論文は、「序論」―「本論」―「結論」の3部から構成されます。例えば論文が5章から成る場合は、第1章が序論、第2章～第4章が本論、第5章が結論となります。
- 「序論」では、研究対象の定義、研究対象に対する概観、研究の方法（分析法）、そして問題提起（何を明らかにしたいのか？）等を述べます。
- 「本論」では、「序論」で述べた方法で研究対象について分析・論述をします。最後に「結論」では、「序論」で示した問題提起に対する答えを示します。
(過去の卒業論文・卒業研究は、学生閲覧室のキャビネット内に保管されています。自分自身のテーマに近いものをいくつか見ることで、論文構成についての具体的なイメージがつかめるので、一度見てみることをお勧めします。)

3. 書式

3.1. タイトルページ

- タイトルページには、以下の情報を記載します。
 - 「ドイツ語圏文化学科」（左寄せ、12 ポイント）
 - 「2022 年度卒業研究」（左寄せ、12 ポイント）
 - 「指導教授名」（左寄せ、12 ポイント）
 - 「タイトル」（中央寄せ、20 ポイント）
 - 「副題」（中央寄せ、14 ポイント）
 - 「学籍番号」（右寄せ、16 ポイント）
 - 「氏名」（右寄せ、16 ポイント）

※ドイツ語で執筆する場合、日本語のタイトルは必要ありません。

※副題がないときには、日本語・ドイツ語のメインタイトルの後に「.」や「。」をつけません。

※副題があるときには、日本語のメインタイトルと副題のあいだ（副題の両側にではない）に一つの「—」（全角ダッシュ、U+2014）を付けます。ドイツ語のメインタイトルの終わりには「.」を付け、半角を空けたうえで副題を書きます。副題の終わりに「.」は付けません。

※日本語のメインタイトルあるいは副題の後に「。」は付けません。

3.2. 目次

- 「本文」中の各章・小節の題とその章・小節が始まるページを、日本語なら「MS ゴシック」、ドイツ語なら「Arial」で、いずれも 10.5 ポイント で書きます。

3.3. 本文

- フォーマット：A4（40 字×30 行）で、上下左右に 30 mm ずつ余白を空けます。
- 執筆枚数
 - 日本語で書く場合：8,000～12,000 字程度（7～10枚程度）
 - ドイツ語で書く場合：1,800～2,700 語程度（7～10枚程度）
- ※表紙・目次・図表・参考文献リスト・資料は除いてカウントしてください。
- 書式：日本語なら「MS 明朝」あるいは「游明朝」、ドイツ語と数字は「Times New Roman」で、いずれも 10.5 ポイント
- ページ下部中央に、ページ番号を算用数字でつけます。
- 句読点
 - 和文：全角の「、」と「。」

- 欧文：半角の「,」と「.」
- カッコ
 - 和文：全角の各種カッコ
 - 欧文：半角の各種カッコ
 - 和文中であっても、欧文を引用する場合やドイツ語の文献名を挙げる場合には、半角のドイツ語入力の引用符 („, “) [99, 66] を使ってください。

3.4. 章・小節の題（見出し）

- 各章・小節の題は、日本語なら「MS ゴシック」、ドイツ語なら「Arial」で、いずれも 12 ポイントで書きます。
- 章・小節の題と本文とは、10.5 ポイントで 1 行分空けます。

4. 執筆上の注意

- 扱うテキストは、ドイツ語原典があるものについては、ドイツ語で読み、論文中に引用し訳をつけることが望ましい。
- 執筆にあたっては、執筆者自身の考察部分であるのか、先行研究に依拠した「引用」の部分であるかをつねに区別してください。
 - 本文中、脚注中を問わず、引用する場合には、出典とページ数を明記する。
 - 参考文献（インターネットによる情報も含む）に書かれた言葉を、出典を明記しないで書くことは無断引用であり、剽窃行為にあたります。
 - 剽窃行為が明らかになった場合、その論文は不合格となります。
- いったん提出した論文は、あとになって別のものと差し替えることはできません。内容上の問題だけでなく、誤字脱字もふくめて、何度もよくチェックした上で提出してください。
 - 誤字脱字などをチェックするために、指導教授の先生だけでなく、書いたものをクラスメートや他の人にも読んでもらうことをオススメします。
- ドイツ語で書く場合、それぞれの単語のあいだだけでなく、ピリオドやコンマ、カッコ（閉）のあとにも半角スペースを入れ忘れないようにしてください。

良い例) Das 1. Buch Mose (Genesis) fängt mit der Schöpfung des Lebens im Garten Eden an.

悪い例) Das 1.Buch Mose (Genesis)fängt mit der Schöpfung des Lebens im Garten Eden an.

5. 「引用」・「参照」・「脚注」・「参考文献」について

別添の「参考文献の表記方法」（2022 年度版）を参照し、その指示に従うこと。